

PRODUCT HAZARDS - RECALLS

製品の危険性 — リコール

①リコールとは？ リコールとは、政府と製造業者が、危険や害をもたらす恐れがあると判断された製品を市場から撤去することをさします。CPSC（米国消費者製品安全委員会）の調査によれば、NHTSA（米国運輸省）及びアメリカ食品医薬品局 共に、リコール対象製品は子供用品が大半を占めているとのことです。

リコール対象製品が市場より撤去されたとしても、すでに購入された製品や、託児所・保育所、リセールショップなどで売られている製品は撤去がされにくい傾向にあります。およそ100万ものリコール対象製品が今もなお使用されている現状です。

②リコールされる対象製品は？ すべての製品が対象となります。おもちゃも含め、ベビーベッドやベビーカー、ベビーチェアなどの幼児製品も含まれます。

③リコール対象になるには？ 危険商品はあらゆる方式でCPSCより対象製品となります。メーカーが独自のテスト方式により、危険と断定する場合もあれば、子供が使用し、怪我や死亡事故が発生した場合に消費者より報告されることもあります。CPSCには限界があり、ほとんどが任意でのリコールとなっているため、商品により怪我をしている実例があるにもかかわらず、今もなお市場に残っている場合があります。

④リコール対象製品はどれくらいあるのですか？ 子供用品のリコールは大体1週間に2製品ほど報告されます。年間で言うと平均 約100製品以上の子供品がリコール報告に上がっているとみなされます。あなたもリコール対象製品を持っている可能性があるため、ご確認いただくことをお勧めします。

⑤毎週約2製品の子供製品がリコール対象に上がっているとのことですが、なぜ私たちはメーカーより連絡をもらえないのでしょうか？ 製品がリコールになった際（その製品により死亡事故が発生したにもかかわらず）、製造業者はリコールの広告を上げることはほとんどありません。その代わり、製造業者によりプレスリリースを掲載しますが、浸透性はほぼありません。実際、ベビー製品がリコールされた際、製造業者は通常10%–30%ほどしか回収を行いません。これは即ち、約100万ものリコール対象の危険製品がまだ市場に存在するということです。もしかしたらあなたもリコール対象製品も持っているかもしれません。

⑥私の持っている製品が安全ではなさそうです。どうすればいいですか？ 子供製品によってお子様が危険にさらされた経験があるのはあなただけではありません。再度そのようなことが起こらぬよう、またほかの消費者が被害にあわぬ様、事故やその他の問題を製造メーカーやCPSCに**報告**することが、最善の方法です。また、SaferProducts.gov でもほかの消費者のレポートを確認することができます。

⑦リコール対象の製品を持っています！どうすればいいですか？ まずは直ちに使用を中止してください！その製品が危険とみなされたためリコール対象となります。その製品は安全ではないため、使用継続をしないでください。[CPSC web site](#) にてリコール報告を確認してください。または、CPSC へお電話ください。(1-800-636-CPSC) リコール報告内より、払い戻しのため製品返品が必要であるか、または交換部品を注文し、製品を安全にする必要があるかどうかを確認できます。